

令和3年度
学校だより
NO.2



甲府市立大國小学校

大國の子

R3. 5. 25 発行 校長：吉村 実

学校教育目標

「心豊かに、知性を磨き、たくましく
主体的に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

- 思いやりの心を持ち、助け合う子ども
- よく考え、自ら学び 表現する子ども
- 心身ともに健康で、進んで行動する子ども

「できない理由をさがすのではなく できる方法をさがす」

～ 1年ぶりの授業参観実施！ ～

新型コロナウイルス感染が全国各地に広がりを見せる中、学校では、感染防止に最大の注意を払って、教育活動に取り組んでいます。ご家庭におかれましても、毎朝の検温や家族の健康管理にご配慮いただき、感謝いたしております。おかげをもちまして、今日まで感染の報告なく教育活動を進めることができています。まだまだ、予断を許さない状況が続きますが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

5月17日から、学年学級を分散する中で、授業参観を開始しました。昨年度一年間、学校での児童の様子をご覧いただけなかったこともあり、今回実施した1・3年生は、ほぼ全家庭に参観していただきました。おいでいただいた、保護者の皆様からは、「子どもが学校で元気に授業している様子がわかって安心した」「先生や他の保護者と話ができてよかった」等の感想をいただきました。

子どもたちの健やかな成長には、学校と家庭・地域の連携が不可欠です。まずは、お互いの状況を知り、相互に思いを交流し、「子どものために」どうす

るのがよいのかを、共通認識することが重要です。今後も、学校での様子を知っていただくと同時に、家庭での様子をお知らせいただけるよう進めていきます。

何かと制約の多い昨今ですが、工夫と知恵を凝らしながら、「できる方法」を模索していきたいと思えます。連携が進められますように、ご支援・ご協力をお願いいたします。



○13日（木） 6年プログラミング学習

「アイやまなし人材育成協会」より園原先生を講師にお迎えし、悠遊館において「プログラミング学習」を行いました。

3密を避けるために、6年生がクラスごとに分散して、講義・演習を実施しました。

会場には、ペッパーくんが「3人」来館し、班ごとにPCセットが用意され、「動き」と「話すこと」をプログラミングしました。実際にプログラムを始動させ、ペッパーくんと会話することを楽しむとともに、達成感を感じていたようです。

変化の大きい21世紀を担う子どもたちにはふさわしい授業となりました。



○24日(月) 避難訓練実施

授業中の大地震発生を想定した避難訓練を実施しました。教室で避難時の事前学習を行った後、行動を開始しました。初めて参加する1・2年生も、「お・か・し」をきちんと守り、落ち着いて安全に避難行動をとることができました。

自然災害は、いつ起こるか予測できないのが現状です。「その時」に備えて、安全を守る学習を進めていきたいと思っております。ご家庭でも、「災害時の家庭での約束」を話し合う機会を持っておくとよいと思っております。



①教室での一次避難



②それぞれの避難経路で校庭へ



③校庭での点検

○プール開きに向けて ～6年生プール清掃実施！～

6月からのプール開きに向けて、6年生がプール清掃を行いました。昨年度実施しなかったこともあり、側溝やプールサイド等、例年以上に細かいところまで一生懸命に清掃してくれました。全校児童が気持ちよく使用できるように、最上級生として、責任を果たそうとがんばっていました。おかげで、環境が整い、プールが始められそうです。ありがとう、6年生！！



○個別懇談の実施について

6月24日から、個別懇談が始まります。今年度は、家庭訪問も行わず、家庭との連携を図るために、1学期に実施することとなりました。ご理解・ご協力をお願いいたします。

※詳細は、後日お知らせいたします。

「ちょっと一言」

「子どもを育てる」ということ

「かわいい子には、考えさせよ！」悩み、困り、課題に突き当たることで、自分で考える力、解決できる力が身についていくのです。私たち大人は、「教える」視点から「育てる」視点へと意識の変革が求められています。

(「少年は手を離せ、目を離すな 青年は手を離せ、心を離すな」：子育て4訓より)

保護者の皆様へ ～再度のお願い～

学校では、換気・手洗いの励行・身の回りの消毒など様々な感染防止策を講じ、感染症予防に全力で取り組んでいます。集団感染を防ぐためには、「ウイルスを校内に持ち込まない」ことが重要です。保護者の皆様には、毎朝、家庭での検温、体調の確認をしていただき感謝申し上げます。今後も子どもたちの感染拡大防止のため、より一層のご協力をお願い申し上げます。

○朝の健康チェックで**体調が悪い場合、無理せず自宅で静養**させてください。

(特に、発熱37℃以上あり、せき、腹痛等の風邪の症状がある場合)

○発熱した場合は、**必ず通院し、医師の診断**を仰いでください。また、その結果を**学校にお知らせ**ください。

